

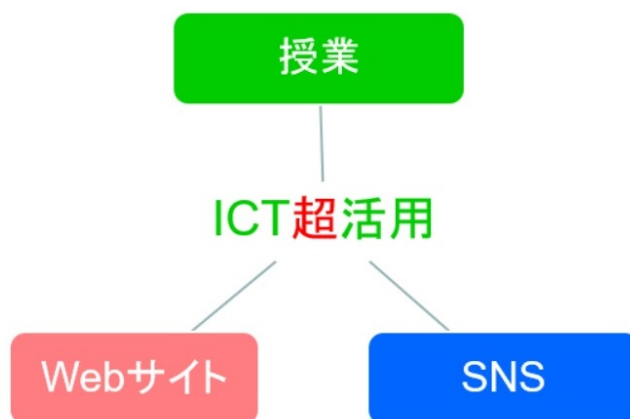
ICT超活用

Ultra ICT Practical Use

とは

人間性への回帰をテーマに
 ①感性に響く, ②理性に届く, ③知性に繋ぐ
 ためのソリューションとして, 現状を**超**えるために
 ⑦対象の視野を**超**え, ⑧学習の機会を**超**え, ⑨活用の範囲を**超**えて
 展開される**新しい ICT 活用**のこと。

新しい ICT 活用の展開



人間性への回帰としてのソリューション

1次元：音楽・音響・コンピュータミュージック

→ DTM, ボーカロイド

2次元：画像・映像・アニメーション

→ デジタル絵, イラスト, キャラクタ

3次元：演劇・映画・ダンスパフォーマンス

→ ショートダンス, リズムダンス, Vtuber

4次元：芸術・技術・メディアアート

→ インターメディア

ICT超活用

イメージキャラクター

ICT超活用では、人間性への回帰としてのソリューションを展開するためにテーマに合わせて、独自のイメージキャラクターを創成しています。

例えば、

情報学教育 K-12(幼小～高校)カリキュラムに際しては以下のような、イメージキャラクターたちが活動します。

この度、双子の彼らの名前が決まりました。

①ふたりの少年 (小学校1年) 左:陽くん, 右:陰くん



②ふたりの青年 (高等学校3年, 第12学年)



陽くん

陰くん



陰くん 陽くん